

# 日本BS放送株式会社

2018年8月期 第2四半期

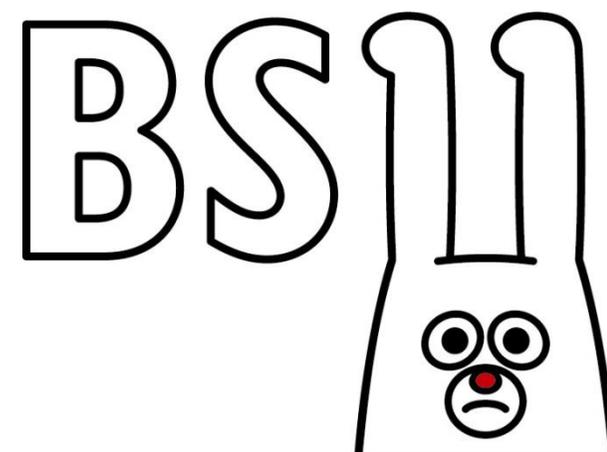
(決算補足説明資料)

2018年4月4日



東証一部 コード: 9414

# I 決算概況



◆ 2018年1月11日、(株)理論社及び(株)国土社の株式(100%)を取得



創業	昭和22年
事業内容	書籍、雑誌、楽譜、その他の印刷物の編集、制作、出版及び販売
資本金	10百万円



創業	昭和12年
事業内容	児童図書、教育図書及び教育雑誌の発行
資本金	10百万円

- それぞれ長い歴史を持つ児童書出版の老舗企業
- 絵本、読み物、学習物といった児童書に特化、数多くの優良コンテンツを保有
- 全国の学校図書館・公共図書館への販売が中心

※各子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、貸借対照表のみを連結しており、損益計算書については連結していません。

2018年8月期 第2四半期 総括

売上高 **5,955百万円** (前期比 10.1%増)

営業利益 **1,606百万円** (前期比 35.0%増)

- 売上高は、前年を大きく上回り、ほぼ計画通りに推移
- 良質な自社制作番組と人気番組の購入による広告枠の付加価値向上
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効果的な広告宣伝の実施
- 営業利益は、効率的な原価・経費使用に努め、前年を大きく上回って推移

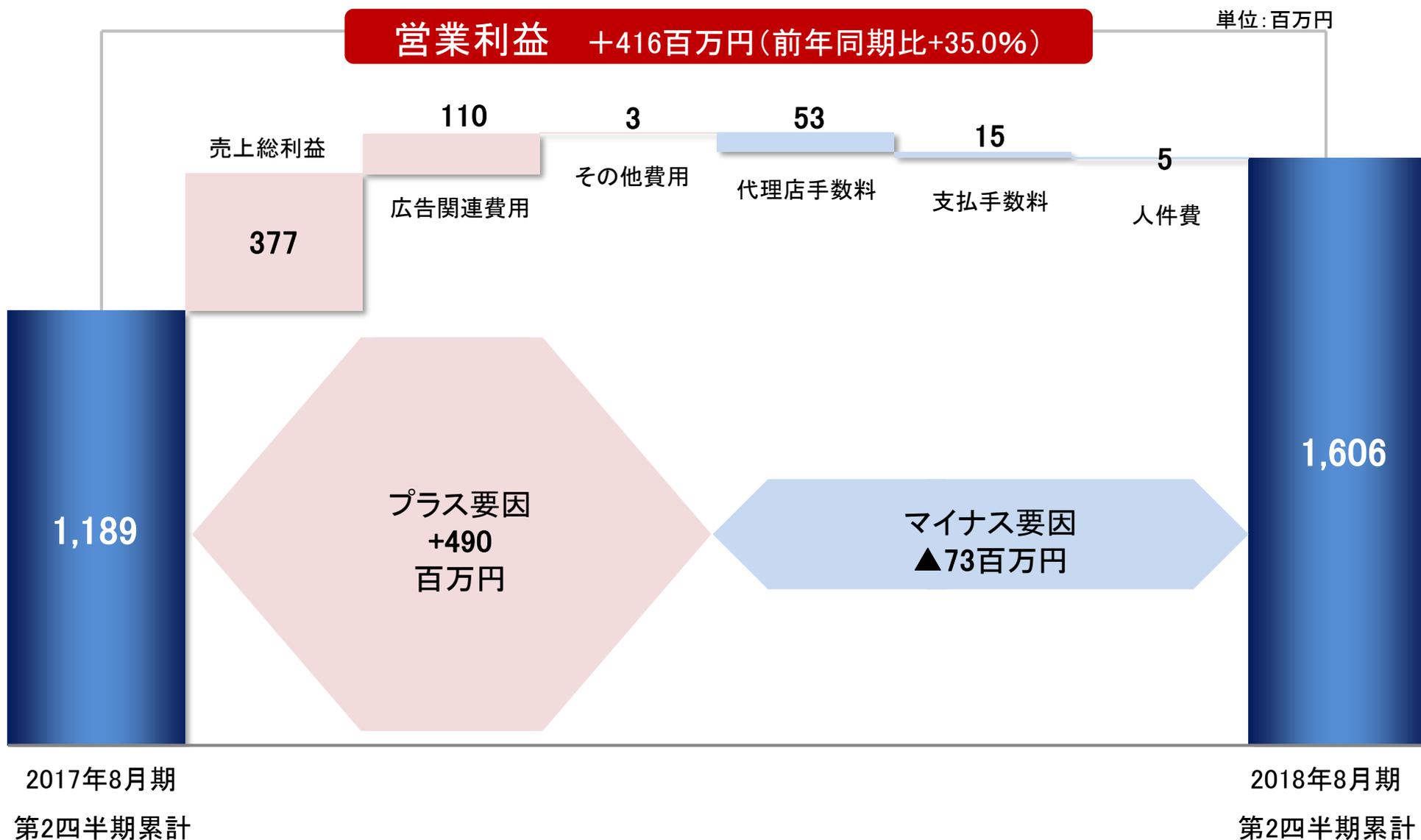
（単位：百万円、下段は構成比）

	2017年8月期 第2四半期 累計	2018年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画 (期初)	計画比 (期初)	増減額 (期初)	主な変動要因(計画比)
売上高	5,408 (100.0%)	5,955 (100.0%)	+10.1%	+547	6,100 (100.0%)	▲2.4%	▲144	(売上高) ・タイム収入 … △87百万円 ・スポット収入… △59百万円 ・その他収入 … +2百万円
売上総利益	2,849 (52.7%)	3,227 (54.2%)	+13.3%	+377	— (—)	—	—	(段階利益) ・売上原価及び販管費の効率的 使用により、計画比増加
営業利益	1,189 (22.0%)	1,606 (27.0%)	+35.0%	+416	1,130 (18.5%)	+42.1%	+476	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価： ・良質な番組制作に伴う番組関連費 用を効率的に使用
経常利益	1,190 (22.0%)	1,607 (27.0%)	+35.0%	+416	1,130 (18.5%)	+42.2%	+477	販売管理費： ・広告宣伝費の投下を効率的且つ 効果的なタイミングを見極め実施(4 月番組改編・11周年特別番組に向 け、積極的且つ戦略的に費用投下) ・その他経費項目を効率的に使用
四半期純利益	813 (15.0%)	1,100 (18.5%)	+35.2%	+286	780 (12.8%)	+41.0%	+320	

# 貸借対照表の概要（個別）

（単位：百万円、下段は構成比）

		2017年8月期末	2018年8月期		
			第2四半期末	増減額	主要な増減要因
資産	流動資産	10,252 (59.4%)	11,044 (61.4%)	+791	(資産) ・現金及び預金の増加・・・+821百万円 ・売掛金の減少・・・▲83百万円
	固定資産	7,002 (40.6%)	6,954 (38.6%)	▲48	
資産合計		17,255 (100.0%)	17,999 (100.0%)	+743	
負債	流動負債	1,694 (9.8%)	1,643 (9.1%)	▲50	
	固定負債	65 (0.4%)	75 (0.4%)	+9	
負債合計		1,759 (10.2%)	1,718 (9.5%)	▲40	
純資産合計		15,496 (89.8%)	16,280 (90.5%)	+784	(純資産) ・利益剰余金の計上・・・779百万円
負債・純資産合計		17,255 (100.0%)	17,999 (100.0%)	+743	



	2017年8月期 第2四半期累計	2018年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	5,408 (100.0%)	5,955 (100.0%)	+10.1%	6,100 (100.0%)	▲2.4%
タイム収入	4,009 (74.1%)	4,344 (72.9%)	+8.4%	4,432 (72.7%)	▲2.0%
スポット収入	1,291 (23.9%)	1,451 (24.4%)	+12.4%	1,511 (24.8%)	▲3.9%
その他	107 (2.0%)	159 (2.7%)	+49.0%	157 (2.6%)	+1.9%

## 主な増減要因（前年同期比）

- タイム収入
  - ・良質な番組制作、戦略的な広告宣伝施策により、番組提供枠の販売が好調に推移
  - ・通販枠販売を強化、通販枠販売が堅調に推移
- スポット収入
  - ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポット販売が好調に推移
  - ・人気ドラマを効果的に編成することで、通販スポット販売が堅調に推移
- その他
  - ・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金収入、番組販売に伴う収入等の増加

◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、引き続き増加トレンド



# 主要費用項目実績（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2017年8月期 第2四半期累計	2018年8月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,550 (28.7%)	1,783 (30.0%)	+15.1%	
番組購入費	279 (5.2%)	279 (4.7%)	▲0.1%	
番組制作費	1,271 (23.5%)	1,504 (25.3%)	+18.4%	・良質な番組制作に伴う番組内容のより一層の充実による増加(キャスティングの選定)
放送関連費用(原価)	313 (5.8%)	316 (5.3%)	+1.0%	
放送委託費	277 (5.1%)	277 (4.7%)	—	
技術費	35 (0.7%)	38 (0.6%)	+9.1%	
広告関連費用(販管費)	448 (8.3%)	337 (5.7%)	▲24.6%	
広告宣伝費	406 (7.5%)	298 (5.0%)	▲26.4%	・広告宣伝費の効率的且つ効果的なタイミングを見極め、4月番組改編・特別番組に向け費用投下の時期を変更
販売促進費	41 (0.8%)	39 (0.7%)	▲6.5%	

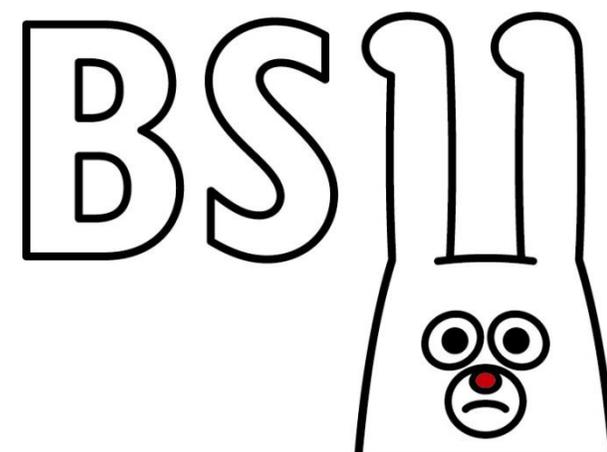
(単位:百万円、下段は構成比)

	2018年8月期 第2四半期累計
	実績
売上高	5,955 (100.0%)
売上総利益	3,227 (54.2%)
営業利益	1,577 (26.5%)
経常利益	1,578 (26.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,069 (18.0%)

		2018年8月期 第2四半期末
流動資産	流動資産	11,659 (62.6%)
	固定資産	6,956 (37.4%)
資産合計		18,616 (100.0%)
流動負債	流動負債	2,263 (12.2%)
	固定負債	99 (0.5%)
負債合計		2,362 (12.7%)
純資産合計		16,253 (87.3%)
負債・純資産合計		18,616 (100.0%)

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期の数値については記載しておりません。また、各子会社のみなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、損益計算書についてはのれん償却費等を計上しております。

## Ⅱ 通期計画



売上高は**13,000**百万円、営業利益は**2,240**百万円、  
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,545**百万円を計画

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期	
	第2四半期累計	通期計画
	実績	計画
売上高	5,955 (100.0%)	13,000 (100.0%)
営業利益	1,577 (26.5%)	2,240 (17.2%)
経常利益	1,578 (26.5%)	2,245 (17.3%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,069 (18.0%)	1,545 (11.9%)

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期の数値については記載しておりません。

売上高は**12,750**百万円（前期比10.2%増）、営業利益は**2,230**百万円（前期比0.1%増）、  
当期純利益は**1,540**百万円を計画（前期比1.4%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

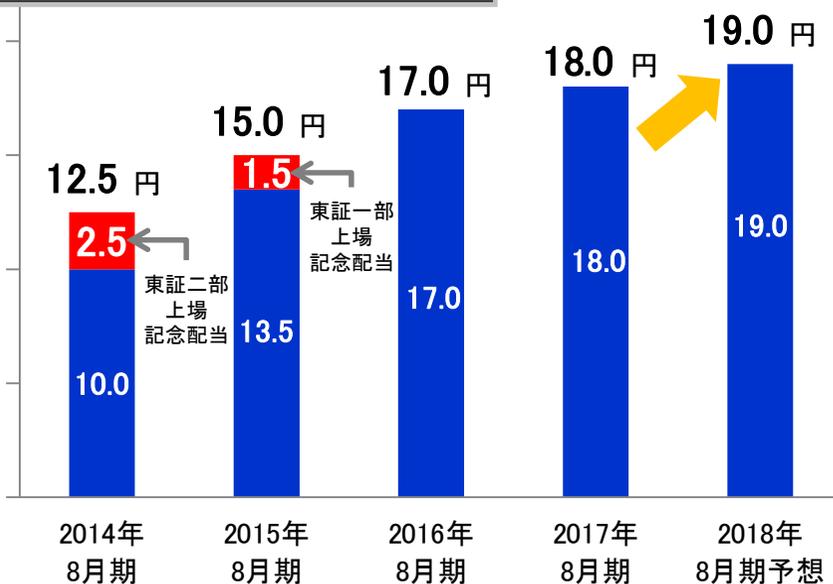
	2017年8月期		2018年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,408 (100.0%)	11,569 (100.0%)	5,955 (100.0%)	+10.1%	12,750 (100.0%)	+10.2%	+1,181
タイム収入	4,009 (74.1%)	8,541 (73.8%)	4,344 (72.9%)	+8.4%	9,062 (71.1%)	+6.1%	+520
スポット収入	1,291 (23.9%)	2,755 (23.8%)	1,451 (24.4%)	+12.4%	3,282 (25.7%)	+19.1%	+527
その他	107 (2.0%)	272 (2.4%)	159 (2.7%)	+49.0%	405 (3.2%)	+48.9%	+133
営業利益	1,189 (22.0%)	2,227 (19.3%)	1,606 (27.0%)	+35.0%	2,230 (17.5%)	+0.1%	+2
経常利益	1,190 (22.0%)	2,231 (19.3%)	1,607 (27.0%)	+35.0%	2,235 (17.5%)	+0.1%	+3
当期純利益	813 (15.0%)	1,518 (13.1%)	1,100 (18.5%)	+35.2%	1,540 (12.1%)	+1.4%	+21

## 期末配当金を1円増配、19.0円を計画

### 配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

### 年間配当金



	2014年8月期	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期(予想)
年間配当	12.5 円	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円
普通配当	10.0 円	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円
記念配当	2.5 円	1.5 円	0 円	0 円	0 円
1株当たり当期純利益	77.67 円	68.34 円	82.04 円	85.27 円	86.78 円

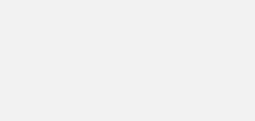
(注) 1. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

## 株主優待制度の概要

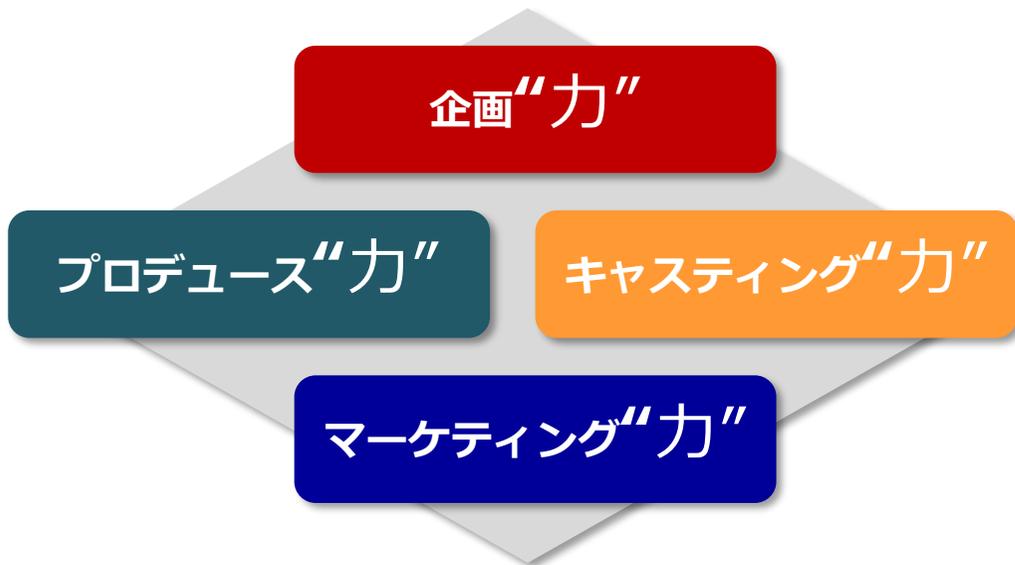
- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

## 長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
  - ① 基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
  - ② 当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

持続的成長に必要な『4つの“力”』



企画 <b>力</b> Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案
キャスティング <b>力</b> Casting	映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング
マーケティング <b>力</b> Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行
プロデュース <b>力</b> Produce	皆様の役に立つ、質の高い情報・番組を提供・制作

重点施策としての『5本の矢』

- 
**1. 自社制作番組の充実と拡大**
  - ・ 人気番組に集中して資源を投下
  - ・ 番組を「作品」から「商品」へと昇華
- 
**2. 情報番組の選択と拡大**
  - ・ プレミアエイジへのホスピタリティの強化
  - ・ イベント等番組連動企画の立ち上げ
- 
**3. アニメ番組の強化**
  - ・ 得意分野の更なる強化
  - ・ 目指すのは「アニメといえばBS11」
- 
**4. ローカル局とのコラボ**
  - ・ 独立ローカル局の強みを生かした差別化施策
  - ・ 日本各地の「いいもの」を全国へ発信
- 
**5. スポーツコンテンツの充実**
  - ・ 新たなニーズの発掘
  - ・ 「BS11ならではの」のコンテンツ作り



人気番組



毎週水曜よる8時～



毎週木曜よる6時59分～



毎週木曜よる11時～

➤ 視聴者のニーズを把握し、よりよい番組に内容を充実



アニメ番組の強化

◆製作委員会出資作品(2017年12月～2018年2月)



© 愛七ひろ・shri・KADOKAWA カドカワBOOKS刊/  
デスマ製作委員会



©あろ・芳文社／野外活動サークル



©2017 水野良・深遊／株式会社KADOKAWA刊/  
エーラム魔法師協会



© 2017 木崎あき／KADOKAWA アスキー・メディアワークス／博多豚骨ラーメンズ



©ダーリン・イン・ザ・フランキス製作委員会

➤ 当期製作委員会に出資した**9**タイトルを含め、毎週**40**タイトル以上のアニメ番組を放送！(2017年9月～2018年2月)



ローカル局とのコラボ

◆KBS京都と共同製作



KBS京都と共同製作で放送！

- ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施



スポーツコンテンツの充実

◆2020年に向けて



「日本女子ソフトボールリーグ」



「全日本学生柔道体重別選手権大会」

- BS11ならではの豊富なコンテンツをお届け



特別番組

◆開局10周年特別番組



- 特別番組も積極的に放送、視聴者の皆様から好評を頂きました



## BS11 オンデマンド配信

### ◆見逃した方へ

サイト告知バナー(公式HP等に設置)



URL: <http://vod.bs11.jp/video/>

ニュース・経済、エンターテインメント、スポーツ様々なジャンルに加え、BS11エンタメトピックスを無料で配信。

- 認知向上及びリアル視聴獲得!



## 11 (イレブン) の日キャンペーンの実施

11月11日“11並び”の「11(イレブン)の日」に、総額121万円分のビックカメラギフトカードが当たるキャンペーンを実施。幅広い世代の方から多数の応募を頂きました。

- 視聴者との親和性の深化
- 新規視聴者獲得



ビックカメラギフトカード



## イベントの実施

### ◆『BS11 AnimeSHOP』を期間限定オープン!

(2018年2月1日(木)~2月14日(水)、アトレ秋葉原)

- ・BS11制作のオリジナル商品を販売
- ・毎週木曜日よる11時30分から放送中「アニゲー☆イレブン!」プレゼント『久保ユリカのバレンタインチョコお渡し会』などを実施。

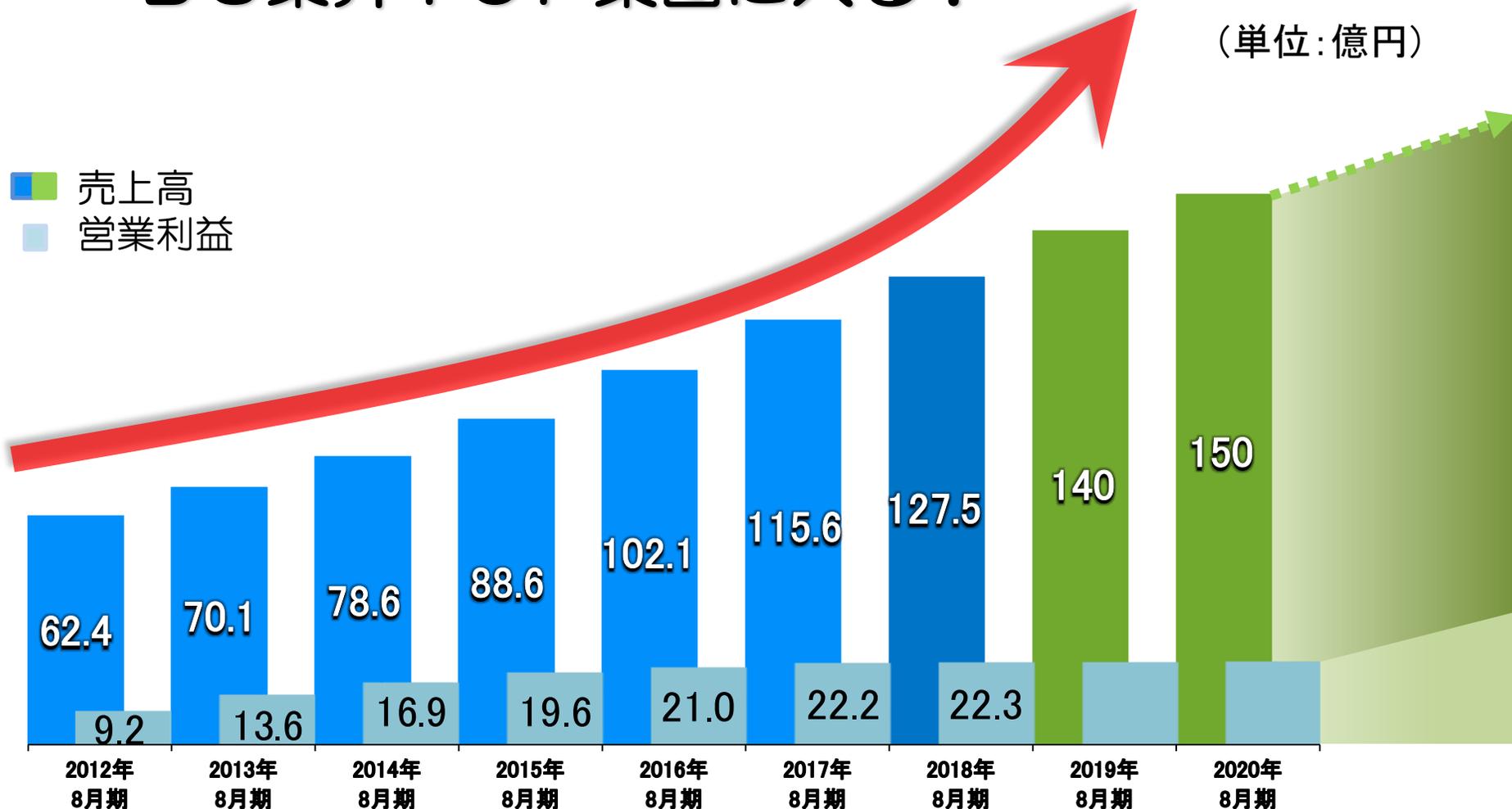
- 今後の収益の柱へ!



# 2020年 売上150億円必達！ ～BS業界TOP集団に入る！～

（単位：億円）

■ 売上高  
■ 営業利益



- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

